

今回は認知症医療をはじめ高齢者医療、医療行政に精通した2人のエキスパートによるセッションをお届けします。がんの早期発見に利用されるPET検査を活用した沖縄の認知症治療にも提言をいただきました。

小山 現時点では認知症の治療にPET検査が重要ということになど、まだ実用的とは必ずしも言えません。

うに、血液や髄液の検査が実現するには、まだ時間が必要です。それまではやはりアミニロイドPETをはじめ、高度な検査で対応せざるを得ないという現状です。

小山いろいろな課題がありますし、人材養成にも時間はかかりますが、沖縄においてもつと認知症治療が進むことを期待しています。

三浦 一般にバイオマーカーと呼ばれる検査指標の開発が盛んに行われています。採取した血液や髄液を用いてアミロイドPETより簡便な方法が確立されれば、診断はより容易になります。ただし、現時点ではその多くが研究段階で、実際の治療法の研究もありますね。

栄養不足というよりバランスの崩れた栄養過多等によって進行することが指摘されているからです。これから途上国で莫大な数の認知症患者が出てくるというWHOの推計もあります。先ほど話したよ

の病院と連携を図り、認知症の不安を抱える患者さんが地域の病院で相談できる環境を整備することも検討してはいかがでしょうか。それが実現すれば、沖縄県の認知症台賀が一氣に進みます。

**病院が連携して
認知症治療を促進**

三浦 アミロイドPETは、レカネマブが発売されるのに伴つて保険適用されました。誤解があつてはいけないのでですが、アミロイド・ベータが少しでも脳内に溜まつてきたからといって直ちに認知症の症状が出るわけではなく、ある程度溜まつてると症状が出てくるのです。アミロイド・ベータがたくさん溜まつていることが分かつたとしても、すでに症状が進んでいると現在は治療の対象になりません。ですからアミロイド・ベータの蓄積を早期に確認することがすごく大切です。

りますが、これにはもう一つ大きな問題があります。全国でPET検査を行っている医療機関10カ所の医師や技師にインタビューを実施したところ、彼らの多くは認知症の診断にはあまり関心がないということが分かりました。彼らの関心の対象はがんの早期発見で認知症に目が向いているとは言えませんでした。逆に言うと、認知症を対象としてPET検査を始めると宣言したらすごいニーズがあるということです。

小山 沖縄の現状に目を向けましょう。アミロイドPETで脳内のアミロイド・ベータを測定するには検査試薬が必要です。例えばその試薬を製造している会社があれば、どこの病院あるいはクリニックがアミロイド用試薬を購入しているのかを調査すれば、全国規模の動向が把握できるのではないかと思います。沖縄県内でのPETは3カ所あると思うが、現在アミロイド用試薬をどの程度使用しているのかわかりません。今後は、アミロイドPETが普及することになると思いますが、沖縄県



病院間の連携を図ることで、
沖縄県の認知症治療が
一気に進みます。

藤田医科大学特命教授
元厚生労働省老健局長

佐久大学人間福祉学部特任教授

小山秀夫

小山 最近 三浦先生と私は認知症に関する国際学会に参加する機会がありました。約70カ国からオンライン参加を含めて4700人を超える研究者や関係機関の代表者が参加しました。そこで強く感じたことは、西欧諸国よりも開発途上国の方が認知症に対する危機感を持つているということ。途上国では認知症はかなり重要な問題です。

アの現場つまり一般の開業医で使える医薬品開発が必要であるということです。

では根治薬が出てくるだろうと思つっていましたが、なかなか開発には困難が伴っています。レカネマブの前にアデュカヌマブという治療薬がありましたが、結局アメリカ食品医薬品局の承認を正式に受けるには至りませんでした。アミロイド・ベータ対策が決して間違つてはいるわけではありませんが、それだけでは認知症の解決にはならない行き生地らしき。次のく

アリーナの整備はじめ
診療体制の整備が必要

三浦 歴史を振り返ると、2012年に「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」が策定されました。これは認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける社会を実現しようと策定されたもので、いわゆる団塊の世代が75歳以上になる2025年を目指してつくれたものです。そして、私も厚労省の職員として携つたのが、政府全体で認知症に取り組むとして2015年に策定された「認知症施

みが進められています。その中に
はいくつもの目標設定があり、認
知症の予防・診断・治療のための
目標も設定されています。小山先
生ご指摘のように、現時点では治
療対象が認知症の人の2パーセン
ト程度にとどまるというのであれ
ば、さらなる研究開発が必要にな
ります。

小山 同時に、その2パーセントの
人たちのみならず、アミロイド・
ベータがどれだけ蓄積されている
のかを確認することも重要です。